

ふれあい ファミリーコンサート

2022年8月28日(日) 12:30 開場 13:00 開演

会場/グリムの館 多目的ホール



日本らばい協会 西館好子理事長



西山琴恵 (歌手)



藤井秀亮 (ギター)

赤ちゃんからシニアの方まで世代を超えて、子守唄や童謡、唱歌を楽しみましょう

プログラム：お話とうた

「ゆりかごのうた」「ねむの木の子守唄」
「竹田の子守唄」「Ko mo ri uta」 ほか

入場券：500円

[前売開始]

7/16 (土) 9:00~

◇ご来場の皆さまにお願い◇

入場券は小学生以上の1人に1枚必要です。座席を使用する場合は未就学児でも入場券が必要です。
マスクの着用、手指の消毒、検温など、感染症予防にご協力ください。
発熱や咳、倦怠感など体調に不安のあるお客様は入場をご遠慮ください。
入場券購入時にお名前、ご連絡先を伺います。感染状況により公演が延期、中止になった場合のご連絡のほか、必要に応じて関係機関へ提出いたします。
公演が中止になった場合を除き、入場券の払い戻しはいたしません。

[問い合わせ]

グリムの森「グリムの館」(下野市下古山 747)
TEL 0285-52-1180 <https://www.grimm-no.net/>

[出演者プロフィール]

■西館 好子 (にしだて よしこ)

NPO 法人 日本ららばい協会理事長、国立青少年教育振興機構運営諮問委員。
東京・浅草生まれ。1982年劇団こまつ座主宰。演劇のプロデュースを手掛ける。
1985年、第20回紀伊國屋演劇団体賞を受賞。1995年スポーツニッポン文化大賞受賞。
30年に及ぶ演劇活動、DV、子どもの虐待、女性問題への活動などを経て、2000年日本
子守唄協会設立。現在は女性史の一つともいえる子守唄に取り組んでいる。

■藤井 秀亮 (ふじい ひでりょう)：ギタリスト・作曲家・歌手

NHK「ふえはうたう」「歌ってゴー」テレビ朝日「午後の旅立ち」TBS「シャボン玉こんにちは」
など多数出演。1984年日本音楽家代表団として渡朝。また拉致被害者救出支援ソング『翼』を作曲
(政府広報)。1985年藤井総合音楽院設立。国際21世紀芸術協会理事。「池田昌子語りの会」
「コトザウルス朗読コンサート」の音楽を担当。現在『命の唄シリーズ』で、作詞家藤公之助氏
とのコラボを展開中。

■西山 琴恵 (にしやま ことえ)：歌手

「子どもの国合唱団」に10歳から高校卒業まで所属し、作曲家 湯山昭氏のこどものうた・合唱
曲にふれ童謡の美しさ、歌う楽しさを学ぶ。その後、真理ヨシコ氏に師事。1991年「全国童謡歌
唱コンクール」関東甲信越地区グランプリ受賞。2004年日本童謡賞特別賞受賞。2013年童謡ソ
ロアルバム「Pallet」を発表。「コトコトさんのドレミ図書館」など三世代が楽しめるコンサート
や文化庁小中学校公演に出演。チェコのテレジン収容所で子どもたちが書いた詩をうたう「テレ
ジン もう蝶々はいない」はプラハ・テレジン・日本各地で100公演を重ねている。「うたの心」
や「うたう喜び」を携えて、『子どもたちに歌い伝え笑顔をつなぐ音楽活動』を展開している。

[NPO 法人日本ららばい協会のご案内]

「産まれてはじめて聴く唄」「抱擁の唄」「親と子がお互いに絆を確かめる唄」・・・、子守唄は自分では歌え
ない幼児たちのための唄です。

「三つ子の魂、百まで」の言葉の通り、心の中に残る大切な文化情操教育のあるべき形として子守唄の大切
さを、現代の子育てに悩む父兄や命をつなぐことに切実となった老人に是非知っていただき、生活に役立て
て欲しいと思っています。

幼児期の成長過程における情緒の形成の重要性は近年医学的にも確認されており、子守唄・童謡・唱歌を通
しての親子の絆が情緒の形成に大きく貢献するものと期待されています。

虐待・いじめ・少子化等が問われている現代だからこそ、子守唄・童謡・唱歌を通して“親と子の絆”“子育て
支援”等に資するために、全国に事業を拡大するため力をいれてまいります。